



こうりつだいがく ほうじんさんようおのだしりつやまぐちとうきょうりかだいがく

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

令和7年9月19日認定

○企業概要

代表者	理事長 池北 雅彦	
所在地	山口県山陽小野田市大学通1-1-1	
事業内容	教育・学習支援業	
労働者数	236名（男性160名、女性76名）	
企業のHP	https://www.sociu.ac.jp	

○一般事業主行動計画に定めた目標とその達成状況

計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
目標	(1) パパ・ママ育休プラスの制度、配偶者が専業主婦（夫）でも育休を取得できること、短時間勤務制度についての周知など、男性の育児休業取得を促進するための措置を実施する。 (2) 乳幼児と一緒に利用できるトイレの整備を促進する。 (3) 在宅勤務、テレワーク等の場所にとらわれない働き方を導入する。
目標に対する取組内容	(1) 教職員専用ポータルサイトに、休暇制度等に関する資料を作成し、掲載。 仕事と育児を両立する教職員と仕事と育児の両立に興味のある教職員を対象に「働くパパママ交流会」を開催し、育児支援制度について説明。 (2) 学内の多目的トイレに、ベビーキープを設置。 (3) テレワーク規程を新たに制定。

○育児休業取得率（育児休業取得者数／期間中出産者数による。）

女性労働者の育児休業取得率 100%

○育児休業又は育児目的休暇取得率（育児休業又は育児目的休暇取得者数／期間中配偶者出産者数による。）

男性労働者の育児休業取又は育児目的休暇取得率 100%

○その他の取組状況

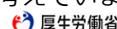
育児をする労働者のための措置	小学校就学前までの子を育てる者を対象とした短時間勤務制度を整備。
所定外労働削減のための措置	月5日のノー残業デーを実施。
年次休暇取得促進のための措置	年5日の確実な取得のため、対象者へ個別連絡を行っている。

○認定企業の声

【事業主から】本学では、教職員がライフステージに応じて安心して働き続けられるよう、環境整備と意識改革の両面から多様な支援を行っています。特に子育て世代へのサポートとして、出産・育児等により十分な研究時間確保できない教員を支援する「研究補助員制度」を設けているほか、長期休暇中に学童・一時預かり保育を提供する「チルドレンデイキャンプ」の実施、学内イベント時に利用できる「学内託児スペース」の整備により、子育て世代の教職員が業務や研究活動に専念できる環境を整えています。制度としては、子の看護等休暇、配偶者出産休暇等の各種休暇制度に加え、育児短時間勤務制度、時差出勤制度の導入により、教職員の状況に合わせた柔軟な働き方を支援しています。さらに、育児サポートサービスや病児保育施設等の利用料を助成する制度も導入し、家庭と仕事の両立を経済面からも細かく支えています。今後も本学は、誰もが安心して働き、研究・教育活動に専念できる環境づくりを進めるとともに、地域社会における次世代育成支援のモデルとなる大学を目指してまいります。

【女性労働者から】育児休業からの復職後、家庭と仕事の両立に日々取り組むなかで、時間単位で取得可能な子の看護等休暇や、会議開始時間の早期化といった制度・配慮には非常に助けられています。また、制度の整備だけでなく、所属部署の理解も大きな支えです。今はまだ支えられることが多い立場ですが、今後は、私も多様な事情に配慮し、誰もが安心して働き続けられる環境づくりに積極的に貢献していきたいと考えています。

【男性労働者から】私は約1か月の育児休業を取得しました。休業中は子どもと向き合う大切な時間を持つことができ、今もその経験はかけがえのないものだと感じています。復職にあたっては、業務の引継ぎや調整など、周囲の方々に多大なご配慮をいただき、安心して職場に戻ることができました。復職後も、子どもの体調不良に対応できる制度や職場の理解に支えながら、仕事と家庭を両立してきました。育児休業を取得することは特別なことではなく、誰もが利用しやすい制度として広がっていくことが大切だと考えています。



山口労働局